

2024年春ダイヤ改正の考え方について

2023年12月

あいの風とやま鉄道（株）

1. 基本的な方針

- (1) 利用実態に即した利便性の確保を図ります。
- (2) 現有車両編成の効率的な運用計画を図りつつ、一部時間帯でパターンダイヤを導入します。
- (3) 呉羽駅北口改札の供用開始に伴い、一部列車の運転区間を延長します。

2. 運行計画

(1) パターンダイヤの導入

「富山～高岡」において「10時台～13時台」までの間、パターンダイヤを実施します。

- ア. 「高岡～富山間」で下り列車9本をパターン化し、30分間隔（：15、：45）で運転します。
- イ. 「富山～高岡間」で上り列車8本をパターン化し、30分間隔（：20、：50）で運転します。

(2) 列車の新規設定

朝通勤・通学時間帯の拡大（始業時間の遅い方）に対応するため、列車を新規に設定します。

- ア. 9時頃「高岡発→富山行」を新規に設定します。

(3) 列車の運転区間の延長

①呉羽駅北口改札の供用開始に伴い、朝一部列車の運転区間を延長します。

- ア. 現行529M列車「富山発→泊行」を「呉羽発→泊行」として運行します。
- イ. 現行531M列車「富山発→泊行」を「呉羽発→泊行」として運行します。

②利便性向上のため、一部列車の運転区間を延長します。

- ア. 現行朝532M列車「泊発→富山行」を「泊発→高岡行」として運行します。
※現行532Mの運転区間延長に伴い、現行1428Dの「富山発→高岡行」の運転を取り止めます。
- イ. 現行夜481M列車「金沢発→黒部行」を「金沢発→泊行」として運行します。

(4) 列車の増車

通勤・通学時間帯の混雑緩和のため、列車を増車します。

- ア. 現行朝433M「金沢～富山間」を2両編成から4両編成に増車します。
- イ. 現行夕方436M「富山～金沢間」を2両編成から4両編成に増車します。

(5) 列車のワンマン化

ワンマン運転を拡大します。

ア. 現行430M、434M、450M、452M、454M、534M、540M

「富山～金沢間」をワンマン化します。

イ. 現行435M、443M、447M、469M、479M、481M

「金沢～富山間」をワンマン化します。

ウ. 現行445M「富山～泊間」をワンマン化します。

エ. 現行560M、562M「泊～富山間」をワンマン化します。

※通勤・通学時間帯については引き続き車掌が乗務します。

(6) 継続事項

混雑が予想される大型連休や休日等の増車を引き続き実施していきます。

ア. 現行540M「富山～金沢間」2両編成から4両編成に増車します。

イ. 現行439M「金沢～富山間」2両編成から4両編成に増車します。

今後のスケジュール

2024年 1月下旬 詳細ダイヤ発表

3月16日 ダイヤ改正